



令和5年度 新米種子島コシヒカリ出発式を開催

J A種子屋久 南種子ライスセンターで7月19日、日本一早い新米「種子島コシヒカリ」の出発式が開催されました。

出発式には、生産者や行政、経済連、J Aなどの関係者22人が出席。関係機関の代表者がテープカットを行い、運搬車両のドライバーへ安全祈願の花束が贈呈され、出席者が見守る中、収穫された新米が鹿児島パールライスに向けて出発しました。

中種子町水稲部会の平山信一郎副会長は「順調に生育した新米コシヒカリを逸早く消費者に届けることができうれしく思う。心配していた仮渡し価格も昨年を上回り、今後の米作りの励みになる」と話しました。

今年度の出荷量は630トン（昨年実績比101.3%）を計画しており、出荷された種子島コシヒカリは、主に県内外の量販店で販売される予定です。

